

JKAの競輪（オートレース）補助事業により低線量肺がんCT検診車が配備されました

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当法人は、低線量肺がんCT検診を平成16年より年間約13,000名の検診を実施しており、今回機器の老朽化に伴い、より精度の高い機器を配備し、県民に広く等しく、低線量肺がんCT検診を提供し、肺がんを含む肺疾患の早期発見に努め早期治療につなげることで、肺がんによる死亡率を下げることを目的とする。

また低線量肺がんCT検診は、国の対策型検診では推奨されていないため、今後は低線量肺がんCT検診を普及・啓発し、検診データを積み上げていく事で有効性の評価につながる。

(2) 実施内容

検診風景



この低線量肺がんCT検診車は、令和4年度公益財団法人JKAの競輪（オートレース）の補助事業により、令和5年9月に当法人に配備されました。配備から約1カ月経ち、現在6市町村で約700名の方の低線量肺がんCT検診を実施しました。検診車に搭載されるCT装置は64列の検出器を備えており、撮影時の息止め時間が以前より楽になったと受診者から喜びの声をいただきました。

2 予想される事業実施効果

以前の機器より精度が高くなった64列の検出器を備えていることで、受診者の検診の負担が軽減し、肺がんをはじめとする肺疾患の早期発見に繋がる。このことにより、肺がんの死亡率が低くなり、低線量肺がんCT検診の認知度も上がるのではないかと考える。

3 補助事業に係る成果物

機関誌 さんて <https://www.miyakenkou.or.jp>